

伝統的技法によるシンプルでモダンな住宅

所在地: 愛知県大府市桃山町  
 設計・総合: 宇野友明建築事務所  
 構造: 同上  
 施工: 直営  
 構造/規模: 木造軸組構法/2階建  
 面積: (敷地) 165.29㎡  
 (1階) 50.6㎡  
 (2階) 50.6㎡  
 (延床) 101.2㎡  
 竣工: 2005年1月

屋根の構成: ガルバリウム鋼板t0.4  
 立ハゼ葺き  
 タイベックルーフライナー敷き  
 構造用合板t24  
 登り梁40×220@900  
 断熱材ウールプレスt100  
 杉板t40



寝室より北側開口を見る。引き分け戸の向こうは外壁縦格子

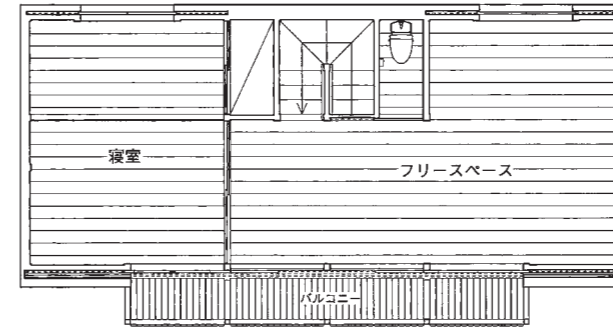


2階フリースペースより寝室を見る

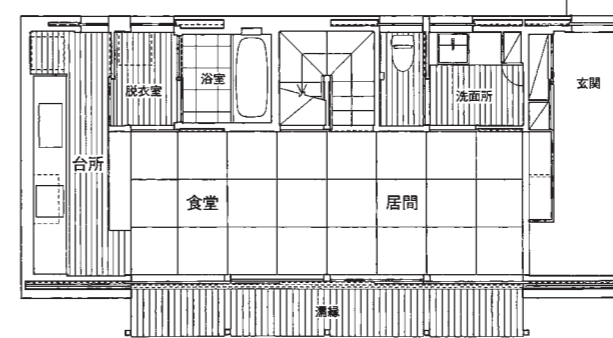
南側建物外観



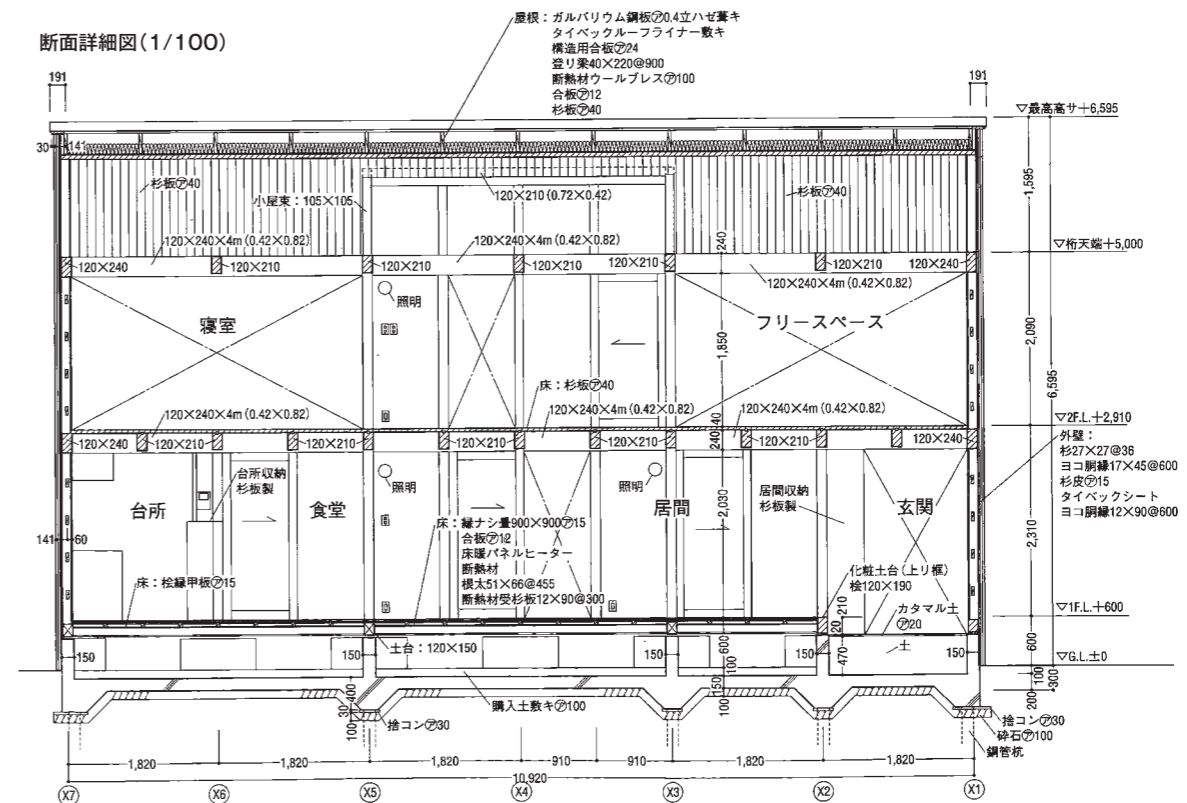
平面図・2階(1/200)



平面図・1階(1/200)



断面詳細図(1/100)



住宅について

わんぱく盛りの男の子3人、5人家族のための家である。木と土壁の健康的な木造住宅を希望されたお施主さんのために木組みが美しく、合理的でシンプルな住宅をめざした。構造材や外壁の格子、仕上げ材などは主に杉とし、格子の下地には杉皮を貼った。壁は竹小舞を編み土壁とし、仕上げは中塗り仕上げとした。プランは1階部分をリビングやキッチン、浴室などのファミリースペースとし、2階を寝室や子供部屋などのプライベートスペースとした。廊下などを出来るかぎり少なくし、最大限部屋として使えるような計画とした。

屋根と合板について

最小限の材料で最大限の空間を実現するために、特に2階のスペースは天井を設けずに小屋裏を現しとした。杉の野地板だけでは屋根構面の水平剛性は不十分なので、登りばりに上面は厚さ24mmの構造用合板、下面は12mm合板を釘打ちし箱状にして剛性を確保している。箱状にした屋根構面の間に断熱材を入れ、また通気層も設け夏期の熱気なども逃す工夫を施している。今回は無垢材や土など伝統的な材料を使った住宅ではあるが、シンプルで合理的な空間を確保するために、合板は縁の下の力持ちのような隠れた仕事をする重要な材料となった。